

# 町田市 新5カ年計画

(2012年度～2016年度)

主な取り組み





# 町田市新5ヵ年計画とは

## ◆ 計画策定の趣旨

町田市は、将来の町田市のあるべき姿を見据え、2012年度から2021年度までの10年間に、何を目標にどのようにまちづくりを進めていくのかを示す町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」（以下「まちだ未来づくりプラン」といいます。）を策定しました。

この「まちだ未来づくりプラン」の実現に向けて、具体的な事業と取り組みを総合的かつ計画的に進めるため、「町田市新5ヵ年計画」を策定します。

## ◆ 計画の位置付け

「まちだ未来づくりプラン」で示した方向性を具体化するための5ヵ年の実行計画です。

## ◆ 計画の期間

2012年度から2016年度までの5年間とします。

## ◆ 計画の構成

次の3つで構成します。

### ○ 重点事業プラン (P.2~)

「まちだ未来づくりプラン」の「まちづくり基本目標」を受け、重点的に取り組む事業と、その目標を示しています。

### ○ 行政経営改革プラン (P.14~)

「まちだ未来づくりプラン」の「行政経営基本方針」を受け、重点的に取り組む改革項目と、その目標を示しています。

### ○ 財政見通し (P.20)

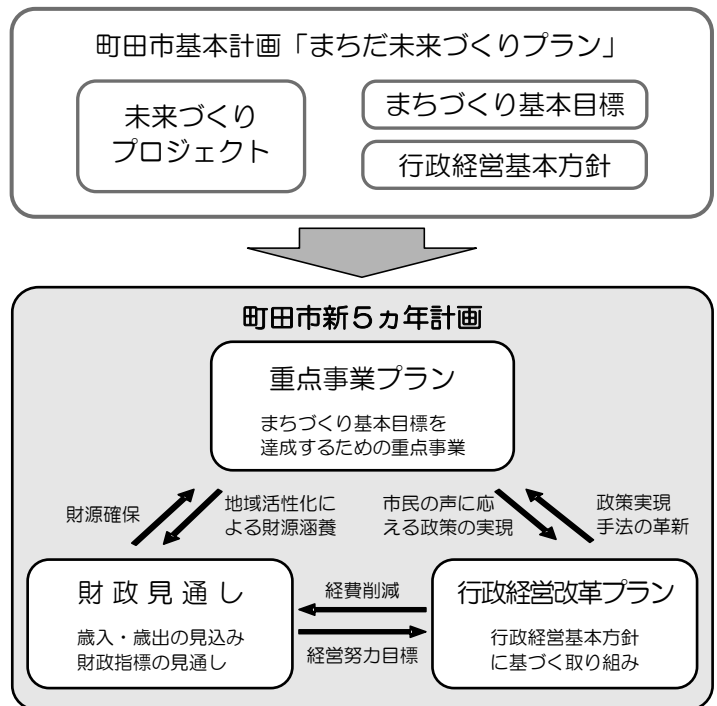
将来にわたり財政の健全性を確保するために、今後5年間の歳入・歳出（一般財源）の見込みと財政指標の見通しを示しています。

## ◆ 計画の推進

社会経済状況の変化などを踏まえながら、毎年度の予算編成、「部長の仕事目標」などにより、計画期間における実施工程と進捗状況を明らかにし、計画を着実に推進します。

この計画の進捗については、それぞれの目標に対する進捗状況を年度ごとにまとめ、町田市ホームページなどで公表します。

「まちだ未来づくりプラン」と「町田市新5ヵ年計画」の関係



### ◆ 未来づくりプロジェクトとは

「まちだ未来づくりプラン」では、「町田市の将来の姿」を実現し、町田市の都市の魅力を高めるため、計画の推進において先導的な役割を果たす5つの「未来づくりプロジェクト」を設定しました。

「重点事業プラン」に掲載している重点事業のうち、「未来づくりプロジェクト」に関連する事業については、事業名の右に **未来づくりプロジェクト** と表示しています。

まちづくり基本目標 I 将来を担う人が育つまちをつくる

子育て家庭を支えるための取り組みや、子どもの生きる力をはぐくむ取り組み、誰もが自ら学び、その成果をまちづくりに活かせる仕組みづくりを進めます。

基本政策 1 安心して、楽しく子育てができるまちをつくる

■ 保育所の整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て拠点としての機能を充実するため、老朽化の著しい公立保育園の増改築や改修を行います。</li> <li>・待機児童の解消のため、民間の事業者が行う保育所の新設、増改築の支援を行います。</li> </ul>		
目 標	① 保育サービス定員*1 ② 保育サービス提供率*2		
現状値	① 5,417人(2011年4月) ② 24.7%(2011年4月)	目標値	① 6,764人 ② 37.3%

\*1 保育サービス定員

保育サービス定員は、認可保育所・認証保育所・家庭的保育者・認定こども園・保育室の定員の合計をいいます。

\*2 保育サービス提供率

未就学児童数に対する、保育サービス定員の割合をいいます。

■ 乳幼児の発達支援

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達に遅れや心配がある乳幼児の発達を促すため、自立に必要な療育を行うとともに、保護者などからの相談を受けます。</li> </ul>		
目 標	すみれ教室利用者数		
現状値	755人/年	目標値	781人/年

■ 子育て相談・支援拠点の充実

未来づくりプロジェクト

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな問題を抱えた子育て家庭に対して、関係機関によるきめ細かな子育て支援を行うため、地域の相談拠点を整備します。</li> </ul>		
目 標	(仮称) 地域子育て相談センター開設		
現状値	—	目標値	2014年度開設

## 基本政策 2 子どもが生きる力をはぐくむまちをつくる

### ■ 小中一貫教育の推進

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範教育*<sup>1</sup>、英語教育、キャリア教育*<sup>2</sup>、食育*<sup>3</sup>を重点領域として小・中学校の連携を密にした教育を推進するため、全市型の小中一貫教育を推進します。</li> <li>・学力向上や生徒指導など共通課題を有する地域の小・中学校が連続性を持って効果的な指導を行っていくため、地域型の小中一貫教育を推進します。</li> </ul>		
目標	小中一貫教育推進事業実施学校数		
現状値	13校	目標値	28校

#### \*<sup>1</sup> 規範教育

児童や生徒に社会のルールや常識、人間関係の大切さ、善悪判断などを教えることをいいます。

#### \*<sup>2</sup> キャリア教育

職場体験、社会体験などの取り組みを通して、児童・生徒の望ましい勤労観、職業観を育て、社会の一員としてたくましく生きる力を育てることをいいます。

#### \*<sup>3</sup> 食育

さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいいます。

### ■ 衛生・空調設備の整備

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の衛生環境や夏場の授業環境を改善するため、老朽化したトイレを改修するとともに普通教室に空調設備を導入します。</li> </ul>		
目標	① トイレ改修実施学校数 ② 普通教室空調設備設置学校数		
現状値	① 10校 ② 4校	目標値	① 48校 ② 62校

### ■ 地域と連携した教育活動

#### 未来づくりプロジェクト

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域が連携し多様な教育活動を行うため、ボランティアを活用した授業や学校行事を展開します。</li> </ul>		
目標	① ボランティアコーディネーター* <sup>1</sup> 配置人数 ② 学校支援ボランティア* <sup>2</sup> 活動事業実施件数 ③ 学校支援ボランティア活動者数		
現状値	① 93人 ② 21,387件/年 ③ 5,316人/年	目標値	① 100人 ② 27,800件/年 ③ 5,900人/年

#### \*<sup>1</sup> ボランティアコーディネーター

学校の情報を地域に知らせ地域と学校をつなげたり、学校教育のニーズに合わせてボランティアを地域から募るなど、学校とボランティアの調整役を果たす人のことをいいます。

#### \*<sup>2</sup> 学校支援ボランティア

学習指導補助、本の読み聞かせ、ゲストティーチャー、営繕作業など学校のさまざまな支援をするボランティアのことをいいます。

## 基本政策3 生涯にわたって学び、成長できるまちをつくる

### ■ 子どもの活動拠点の整備

事業概要	・子どもの健やかな成長を促すため、地域の「成長・発達の拠点」、「あそびの拠点」、「子育て支援の拠点」となる、子どもセンターを整備します。		
目標	① 子どもセンター・子どもクラブ施設数 ② 子どもセンター・子どもクラブ利用者数		
現状値	① 5施設 ② 245,892 人/年	目標値	① 7施設 ② 362,351 人/年

### ■ 生涯学習拠点の整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	・市民が身近な地域で生涯学習活動に参加できるようにするため、地域の図書館の整備を行います。		
目標	図書館数		
現状値	6 館	目標値	8 館

## まちづくり基本目標 II 安心して生活できるまちをつくる

予防医療の推進、医療相談体制の充実などの健康に暮らせるまちづくりや、それぞれの身体や生活の状況に応じた支援、地域活動の支援などの取り組みを進めます。また、大規模災害に強く、犯罪のない安全なまちを目指した取り組みを進めます。

## 基本政策1 健康に生活できるまちをつくる

### ■ 健康づくりの推進

事業概要	・市民が自ら健全な食生活を実現できるようにするため、食育に関する調査を行い、食育推進計画を策定し、食育を推進します。		
目標	食育推進計画策定		
現状値	—	目標値	2013 年度計画策定

## 健康危機管理計画策定

事業概要	・新型インフルエンザ*、放射能や食中毒などの脅威に対応するため、健康危機管理計画を策定し、関係機関、近隣自治体との連携を強化します。		
目標	健康危機管理計画策定		
現状値	—	目標値	2013 年度計画策定

### \*新型インフルエンザ

季節性インフルエンザと抗原性が大きく異なるインフルエンザのことです。一般に多くの方が免疫を獲得していないことから、広範囲かつ急速なまん延により生命および健康に重大な影響を与えるおそれがあるものをいいます。

## 基本政策2 みんなが支え合うまちをつくる

### 地域高齢者支援

### 未来づくりプロジェクト

事業概要	・地域での高齢者の支援体制を強化するため、高齢者見守り支援ネットワーク*の地域拡大、相談窓口の増設を進めます。		
目標	① 見守り支援ネットワークの構築された地域数 ② 高齢者もの忘れ相談窓口数 ③ あんしん相談室設置数		
現状値	① 2 箇所 ② 2 箇所 ③ —	目標値	① 12 箇所 ② 12 箇所 ③ 12 箇所

### \*高齢者見守り支援ネットワーク

高齢者が、安全で安心して生活していくためのネットワークのことで、高齢者の実態調査を行い安否確認や見守り活動などを行います。

### 介護施設整備

事業概要	・介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、特別養護老人ホーム* <sup>1</sup> の整備及び地域密着型サービス* <sup>2</sup> を行う介護施設の整備に対する支援を行います。		
目標	① 特別養護老人ホーム定員 ② 地域密着型サービス施設数		
現状値	① 1,302 人 ② 37 施設	目標値	① 2,034 人 ② 62 施設

### \*<sup>1</sup>特別養護老人ホーム

介護が必要で、寝たきりや認知症などのため在宅での生活が困難な高齢者の方に対し、入浴・排泄・食事などの介護を行う施設です。

### \*<sup>2</sup>地域密着型サービス

住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、認知症ケアの充実を図り、地域に開かれた良質なサービスを提供するために創設されたものです。

### ■ 無料低額宿泊施設\*入所者への支援

事業概要	・無料低額宿泊施設を利用する生活保護受給者が自立した生活ができるよう、無料低額宿泊施設を運営する事業者などにおいて、入所者ごとに支援計画を作成し、支援計画の達成状況の検証を通じ、入所者への生活指導、就労支援及び居宅移行支援を行います。		
目 標	居宅生活移行者数（5カ年累計）		
現状値	—	目標値	40人

\*無料低額宿泊施設

社会福祉法の「生計困難者のために、無料又は低額な料金で簡易住宅を貸し付け、又は宿泊所その他施設を利用させる事業」に基づき、設置される施設をいいます。

### ■ 地域福祉活動支援

未来づくりプロジェクト

事業概要	・地域が主体となって、地域の課題を解決し、互いに支え合いながら生活できるようにするため、地域福祉活動を支援します。		
目 標	地区地域福祉活動協議会*設置数		
現状値	1地区	目標値	12地区

\*地区地域福祉活動協議会

通称「地区ワークショップ」と呼び、地域の課題を解決するために、地区に設置される地域福祉の関係者の集まりであり、「つなげる」ためのコーディネート機能を果たす拠点づくりのために中心的な役割を果たす会議体のことを指します。

## 基本政策3 地域で充実した生活を送れるまちをつくる

### ■ 地域活動の窓口設置

未来づくりプロジェクト

事業概要	・地域活動、市民活動を行っている活動団体の連携の促進、市民が新たに活動に参加するきっかけとするため、地域のさまざまな活動の情報発信、地域交流などを行う窓口を設置します。		
目 標	地域活動・市民活動に関する地域窓口数		
現状値	—	目標値	1箇所

### ■ 忠生市民センター整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	・地域で活動している市民団体や文化芸術活動を行う団体などに活動の場を提供し、人と人がつながって地域活動を支えるまちをつくるため、老朽化した忠生市民センターの建て替えを進めます。		
目 標	忠生市民センター整備		
現状値	基本・実施設計(2011年度)	目標値	2014年度供用開始



## ■ 地域コミュニティ施設整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	・地域で活動している市民団体や文化芸術活動を行う団体などに活動の場を提供するため、老朽化した成瀬センター及び玉川学園文化センターの施設のあり方を検討し、建て替えを進めます。		
目標	① 成瀬センター整備 ② 玉川学園文化センター整備		
現状値	① 基本計画策定 (2011年度) ② 基本方針作成 (2011年度)	目標値	① 2015年度供用開始 ② 2016年度工事着手

## 基本政策4 安全に生活できるまちをつくる

### ■ 地域の防災リーダーの育成

未来づくりプロジェクト

事業概要	・市民の防災意識を向上させるため、市民の自主的な活動の核となる自主防災リーダーを育成します。		
目標	自主防災リーダー講習修了者数(5カ年累計)		
現状値	—	目標値	400人

### ■ 地震対策

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模地震による建物被害の低減を図るため、緊急輸送道路*沿道の該当建築物の耐震診断及び耐震改修を促進します。</li> <li>・1981年5月以前に建築された木造住宅、分譲マンションの耐震化を促進します。</li> <li>・大規模地震の被害を最小限にするため、成瀬クリーンセンターの耐震化、敷設年度が古い町田汚水幹線の耐震化を行います。</li> <li>・避難所の衛生面を保ち、被災時の市民の健康を守るためマンホールトイレを整備します。</li> </ul>		
目標	① 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震診断実施数 ② 住宅耐震化費用助成件数 ③ 住宅耐震化率 ④ 成瀬クリーンセンター耐震化率 ⑤ マンホールトイレ設置箇所数		
現状値	① 0/120件 ② 642件 ③ 81.3% ④ 40.0% ⑤ —	目標値	① 120/120件 ② 1,380件 ③ 90.0% ④ 56.0% ⑤ 7箇所

\*緊急輸送道路

震災時の緊急輸送や応急活動を担う防災拠点などを結ぶ輸送ネットワークとして、道路管理者が指定する道路です。

### ■ 協働パトロール隊の推進

未来づくりプロジェクト

事業概要	・市民全体の防犯意識を向上させるため、官民協働のパトロール隊を設立し、防犯活動を行います。		
目標	協働パトロール隊パトロール回数		
現状値	—	目標値	24回/年

## まちづくり基本目標 Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる

商業を中心とした産業の育成や活性化、さまざまな世代が文化芸術、スポーツを核に活躍し、交流できる場づくりなどの取り組みを進めます。また、まちの魅力を発掘、創造し、それらを発信していく取り組みを進めます。

### 基本政策 1 経済活動が盛んなまちをつくる

#### ■ 中心市街地活性化の推進

未来づくりプロジェクト

事業概要	・「中心市街地活性化基本方針」を実現するための推進計画を策定します。 ・中心市街地の回遊性や快適性を高めるため、市営駐車場の機能更新、広場機能や交通基盤施設の整備、中心市街地商店街のモール化*などを進めます。		
目標	① 中心市街地活性化推進計画策定 ② 駐車場整備計画策定 ③ モール整備延長		
現状値	① — ② — ③ 841.8m	目標値	① 2013年度計画策定 ② 2013年度計画策定 ③ 1,241.8m

\*モール化

歩行者空間を確保し、街の魅力向上を目的に、商店街などの道路を遊歩道風に整備することをいいます。

#### ■ 市民交流型農業の推進

未来づくりプロジェクト

事業概要	・市民が農への関心や理解を深め、農にふれあう機会を持てるよう、市民農園・体験農園の充実、町田産農産物のPRを推進します。		
目標	① 市民農園・体験農園箇所数 ② 町田産農産物等販売所数		
現状値	① 11箇所 ② 36箇所	目標値	① 14箇所 ② 40箇所

## ■ 起業の支援

未来づくりプロジェクト

事業概要	・事業者の起業を支援するため、インキュベーション*施設の整備を進めます。		
目 標	インキュベーション施設整備		
現状値	—	目標値	2013 年度入居開始

\*インキュベーション

起業支援のことをいいます。一般的には創業を目指す又は創業間もないベンチャー企業を支援・育成するため、施設の貸し出しや経営技術や資金、人材の提供などを行います。

## 基本政策2 文化芸術活動やスポーツが盛んなまちをつくる

### ■ 文化芸術活動の促進・支援

未来づくりプロジェクト

事業概要	・市民の活動の場や発表の機会の充実を図り、市民の文化芸術活動を促進する目的で、鶴川駅前に複合施設を設置します。 ・町田市鶴川緑の交流館は、ホール、図書館、コミュニティ施設、行政窓口などを備えた複合施設の特性を活かし、各機能を連携させた事業を展開し、文化芸術の交流拠点施設として、市民の活動支援を進めます。		
目 標	鶴川緑の交流館ホール・会議室等利用者数		
現状値	—	目標値	67,000 人/年

### ■ 文化芸術の拠点施設の整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	・市内の文化芸術環境の向上のため、大規模なホールを備えた多機能施設や、新しい博物館の整備についての検討を進めます。		
目 標	① コンベンションホール*整備 ② 新博物館整備		
現状値	① — ② —	目標値	① 2015 年度基本構想策定 ② 2016 年度工事着手

\*コンベンションホール

国際会議、シンポジウム、演劇、音楽、展示会など多様な用途に対応できる施設をいいます。

### ■ 地域のスポーツ環境の整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	・市民が身近な地域で気軽にスポーツに親しむとともに、地域での交流を深められるよう、環境を整備し、地域スポーツクラブ*の設立や運営の支援を進めます。		
目 標	① 地域スポーツクラブ数 ② 夜間照明設置箇所数		
現状値	① 2 クラブ ② 6 箇所	目標値	① 8 クラブ ② 12 箇所

\*地域スポーツクラブ

子どもから高齢者まで（多世代）、さまざまなスポーツを愛好する人々が（多種目）、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

### ■ アスリートやホームタウンチーム\*との連携の推進

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興やまちの活性化を進めるため、ホームタウンチームと連携し、スポーツイベントの開催やアスリートとの交流機会の創出に取り組みます。</li> <li>・町田市を拠点として活躍するアスリートやスポーツチームの活躍の周知などの活動支援を行います。</li> </ul>		
目 標	① ASVパスカドーラ町田のホームゲーム平均観戦者数 ② FC町田ゼルビアのホームゲーム平均観戦者数 ③ キヤノンイーグルスのゲーム平均観戦者数		
現状値	① 1,040人 ② 3,503人 ③ 約1,000人	目標値	① 1,500人 ② 7,000人 ③ 3,000人

\*ホームタウンチーム

町田市を拠点として活躍しているスポーツチームのことをいい、2011年12月現在、ASVパスカドーラ町田、FC町田ゼルビア、キヤノンイーグルスの3チームがあります。

## 基本政策3 魅力にあふれ、何度でも訪れたくなるまちをつくる

### ■ 市内イベントの振興

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田さくらまつりをはじめ、市内外への町田市のPRにつながる特色あるイベントの開催への支援を進めます。</li> </ul>		
目 標	町田さくらまつり来場者数		
現状値	76,000人	目標値	100,000人

### ■ 地域の特性を活かした観光の推進

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の地域ごとの魅力を活かした、観光プロモーションを展開するとともに、各地域における来訪者の受け入れ環境の整備を進めます。</li> </ul>		
目 標	① 観光プロモーション地域数（5ヵ年累計） ② 観光交流センター設置箇所数		
現状値	① ー ② ー	目標値	① 4地域 ② 2箇所

### ■ シティプロモーション\*基本方針の策定

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が愛着を持ち、市外からも人々を惹きつけるまちであるために、町田市の魅力を内外に発信していくための体制を整備します。</li> </ul>		
目 標	シティプロモーション基本方針決定		
現状値	ー	目標値	2013年度基本方針決定

\*シティプロモーション

市の認知度とイメージを高めるための取り組みを総合的・戦略的に実施することをいいます。

## まちづくり基本目標Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる

道路網、公共交通など交通環境の充実や、良質な住まいづくりや住宅地形成の誘導など、住環境の向上を目指した取り組みを進めます。また、みどりの保全や、地球温暖化防止、資源循環型社会の構築など環境に配慮したまちづくりに取り組みます。

### 基本政策 1 誰もが移動しやすいまちをつくる

#### ■ 都市計画道路の整備

事業概要	・円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。		
目標	① 都市計画道路整備延長（市施行分） ② 新規都市計画道路整備		
現状値	① 58.5 km ② —	目標値	① 59.6 km ② 2015年度調査設計着手

#### ■ 路線バス利用環境の整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	・路線バスを利用しやすい環境をつくるため、連節バス*やバス運行案内システムの導入、バス路線網の再編、乗り継ぎ拠点の整備を進めます。		
目標	① バス路線網の再編 ② 路線バス乗り継ぎ拠点整備		
現状値	① — ② —	目標値	① 2016年度再編着手 ② 2016年度工事着手

\*連節バス

一度の運行で大量の乗客を輸送できるよう、2台の車両をつなげた形状のバスのことをいいます。

#### ■ 駅前広場の整備

事業概要	・地域の交通拠点としての機能向上を図るため、南町田駅、相原駅の駅前広場整備を進めます。		
目標	駅前広場整備箇所数（5カ年累計）		
現状値	—	目標値	2箇所

#### ■ 地域コミュニティバス\*の運行

未来づくりプロジェクト

事業概要	・鉄道や路線バスが運行されていない地域の移動環境を向上するため、地域住民やバス事業者と行政が協働してコミュニティバスを運行します。		
目標	地域コミュニティバス運行路線数		
現状値	4路線	目標値	6路線

\*地域コミュニティバス

住宅地から中心市街地や近隣駅へのアクセス向上など、地域の必要目的にあわせて一定地域内を運行するバスをいいます。

### ■ 自転車利用環境の整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	・自転車を利用しやすい環境をつくるため、自転車走行空間の整備や駅前に公営・民営自転車等駐車場の整備を進めます。		
目標	① 自転車レーン新設延長（5カ年累計） ② 自転車等駐車場収容台数 ③ 民営自転車等駐車場整備支援箇所数		
現状値	① ー ② 18,578台 ③ 5箇所	目標値	① 2.0km ② 19,500台 ③ 12箇所

## 基本政策2 良好な住環境のまちをつくる

### ■ 団地再生の検討

未来づくりプロジェクト

事業概要	・多様な世帯・世代がともに快適に暮らすことができる団地を実現するため、UR都市機構、東京都住宅供給公社とともに、大規模団地の再生に向けた検討を進めます。		
目標	団地再生方針決定		
現状値	ー	目標値	2012年度方針決定

## 基本政策3 みどり豊かなまちをつくる

### ■ 街区公園\*の整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	・地域住民の憩いの場、災害時の地域の防災空間を確保するため、街区公園の整備を進めます。		
目標	街区公園不足解消地域数（5カ年累計）		
現状値	ー	目標値	5地域

\*街区公園

都市公園のひとつで、主に街区内に居住する人が利用することを目的として設置される公園をいいます。

### ■ みどりの拠点整備

未来づくりプロジェクト

事業概要	・市内のみどりの拠点を充実させるため、薬師池公園周辺をはじめとする公園や緑地の整備を進めます。		
目標	① 都市計画公園・緑地整備施設数（5カ年累計） ② 都市計画公園・緑地用地取得面積（5カ年累計）		
現状値	① ー ② ー	目標値	① 3施設 ② 13.6ha

■ 北部丘陵の整備

事業概要	・北部丘陵が持つ資産を磨き、地域の価値を高めるため、営農環境、生活基盤とともに、市民が農や地域とふれあう拠点を整備します。		
目 標	北部丘陵の市有地の活用面積		
現状値	27.8ha	目標値	43.9ha

基本政策4 環境に配慮したまちをつくる

■ 自然エネルギー利用の促進

事業概要	・発電にともなう二酸化炭素排出量を削減するため、太陽光をはじめとする自然エネルギーの利用を促進します。		
目 標	① 太陽光発電設置件数（戸建住宅） ② 太陽光発電設置件数（共同住宅）		
現状値	① 961 件 ② —	目標値	① 2,800 件 ② 50 件

■ 資源循環型施設の整備

事業概要	・資源循環型のまちづくりを実現するため、プラスチック資源化施設、生ごみ資源化施設、焼却施設などの整備を進めます。		
目 標	資源循環型施設整備		
現状値	基本計画策定（2011 年度）	目標値	2016 年度施工業者決定

# 町田市新5ヵ年計画（2012年度～2016年度） 行政経営改革プラン（主な取り組み）

## 基本方針 1 市民と問題意識を共有し、共に地域課題に取り組む

市民から信頼される市政を実現するためには、開かれた行政経営が必要です。そのために不可欠な市民との情報共有を推進していきます。

また、多様化する市民ニーズと地域の課題にきめ細かく対応していくには、行政だけではなく、市民自らも主体的に活動していくことが求められています。そのため市民と対話をしながら市民の活動を積極的に支援し、共に地域の課題に取り組みます。

### ○改革項目1-1 きめこまやかな広報活動の実現

#### 適切な広報手段の選択

##### <取り組み内容>

- ・「広報活動に関する市民意識調査」を実施し、実態を把握します。
- ・さまざまな情報伝達方法を複合的に組み合わせ、有効に機能するための広報体系を構築します。
- ・広聴部門と連携を強化し、市民の声から広報活動のあり方を再考します。

指標	現状値	目標値
市の広報活動に満足している市民の割合	66.3%	73.8%（2015年度）

### ○改革項目1-2 市民の声の組織的活用

#### 対話型行政（広聴）の推進

##### <取り組み内容>

- ・町内会・自治会連合会及び各地区連合会を対象として行っている「市政懇談会」を、地域に関わる課題や問題の中から事前にテーマを設定し、そのテーマについて双方がお互いに意見を出し合う「対話型懇談会」へと発展させます。

指標	現状値	目標値
対話型懇談会の開催回数	—	11回／年



## ○改革項目1-3 市民との協力関係の構築

### 市民協働基本方針及び推進計画の策定

#### <取り組み内容>

- ・市民協働の実現に向け、基本的な方向性を示した「(仮)市民協働基本方針」及び、基本方針を受け具体的な取り組み内容を示した「(仮)市民協働推進計画」を策定し、全庁的に市民協働の推進に向けて取り組む仕組みをつくります。

指標	現状値	目標値
① (仮)市民協働基本方針及び (仮)市民協働推進計画の策定	① -	① 策定(2013年度)
② 基本方針の職員認知度	② -	② 80%

### 市民が市政に関心を持てる仕組みの構築

#### <取り組み内容>

- ・事業仕分けのあり方を再検討し、市民と行政課題や問題意識を共有できるような市民参加型の行政評価の仕組みを構築します。

指標	現状値	目標値
町田市版事業仕分けの実施回数	1回/3年	1回/2年

## ○改革項目1-4 外部意見の活用

### 行政経営改革プランの進捗管理

#### <取り組み内容>

- ・行政経営改革プランの進捗管理を行うため第三者委員会を設置し、委員からの助言・提案を受けて、計画の推進や組織マネジメントに活用します。
- ・各部で主体的に行政経営改革プランの進捗管理を行える仕組みをつくります。

指標	現状値	目標値
① 各部で主体的な進捗管理ができる仕組みの構築	① -	① 構築
② 行政経営改革プランの目標達成率	② -	② 100%

## 基本方針 2 市民の期待にこたえられるよう、市役所の能力を高める

多様化する市民ニーズに対応できるよう、職員の意識改革と能力開発を進め、自律的かつ機動的な経営ができる組織をつくります。

また、社会情勢の変化に対応するため、常に組織の見直しを行い、効率的な組織づくりに取り組みます。

### ○改革項目2-1 職員の意欲向上

#### ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み

##### <取り組み内容>

- ・「町田市特定事業主行動計画\*」の趣旨を踏まえ、子育て中や介護を行う職員の時間外勤務の免除や制限、深夜勤務の制限、休日勤務の原則禁止などの制度を導入します。
- ・各職員、職場ごとに時間外勤務計画を立て、月初協議を義務化します。

指標	現状値	目標値
① 仕事と生活の調和が取れていると感じる職員の割合	① 64.6%	① 80%
② 年間平均時間外勤務時間数	② 139時間/1人 (2010年度)	② 126時間/1人

##### \*特定事業主行動計画

次世代育成支援推進法において、国・地方自治体が事業主の立場として、職員の仕事と子育ての両立のために策定するよう定められたもの。

### ○改革項目2-2 人材の育成と登用

#### 職員能力の早期開発

##### <取り組み内容>

- ・上位の職層を対象とした研修の前倒し受講制度を導入します。
- ・新規採用職員に対する実務研修を必修化します。
- ・若手職員に対する課題達成能力向上研修を実施します。

指標	現状値	目標値
① 早期育成のための研修制度の構築	① 検討	① 完成(2013年度)
② 職員満足度調査における研修の満足度	② 60.7%	② 80%

### 人材確保策の拡充

#### <取り組み内容>

- ・部門別の専門領域を明確化し、専門的技術を持った職員を計画的に採用します。
- ・経験者・キャリア採用、社会人採用など、現行年齢枠の拡大による、多面的な採用試験を実施します。

指標	現状値	目標値
新たな採用試験制度の構築	—	構築

## ○改革項目2-3 組織経営機能の強化

### 地域主権戦略大綱を踏まえた執行体制及び条例等の整備

#### <取り組み内容>

- ・権限移譲される現行制度の趣旨や実施にかかる費用負担などを見極め、市民の生活を充実させる制度として活用できるよう、市役所の組織や条例などを整備します。

指標	現状値	目標値
① 執行体制の整備	① —	① 執行体制の整備 (2014年度)
② 必要な条例などの整備	② —	② 条例などの整備 (2014年度)

## ○改革項目2-4 管理・運営形態の多様化

### コンビニエンスストア等を活用した市民サービスの充実

#### <取り組み内容>

- ・コンビニエンスストアにおいて交付できる証明書の種類を新たに2種類（戸籍事項証明書、課税・非課税証明書）増やし、コンビニ交付の促進を図ります。

指標	現状値	目標値
① コンビニ交付により発行可能な証明書の種類	① 2種類	① 4種類
② コンビニ交付による証明書の発行比率	② 1%	② 20%

## 基本方針 3 いつでも適切な市民サービスが提供できる財政基盤をつくる

厳しい財政状況であっても、市民が安心して暮らせるように、財政構造の弾力性を高めるとともに、財政の健全化に取り組む必要があります。

そのため、長期的な費用対効果を意識した経営視点を持ち、将来にわたって継続的に市民サービスが提供できる財政基盤をつくります。

### ○改革項目3-1 財政運営の最適化

#### 管理会計機能の強化

##### <取り組み内容>

- ・ 予算編成の段階から財務マネジメント単位の予算編成を行います。
- ・ 複式簿記の仕訳を日々の会計処理で行い、迅速かつ多様な財務諸表を作成します。
- ・ 財務業績の月次報告を制度化します。
- ・ 新公会計制度を活用した、債権管理の強化や財産管理の適正化を図ります。
- ・ 減価償却費などを含めた事業別フルコスト情報を予算編成に活用します。

指標	現状値	目標値
① 財務諸表の作成	① 総務省方式改定モデルのみ	① 町田市版財務諸表の完成（2013年度）
② 月次報告による事業の進捗管理	② -	② 実施（2012年度）

#### 受益者負担の適正化

##### <取り組み内容>

- ・ 使用料・手数料の受益者負担が適正であるか、第三者委員会を設置するなど、定期的な検証と見直しを行うための仕組みをつくります。
- ・ 受益者負担の適正化の必要性や考え方について、広報などを通じて周知を図ります。

指標	現状値	目標値
① 検証の仕組みづくり	① -	① 構築・検証
② 受益者負担見直し件数	② 16件（2010年度）	② 62件（5年間累計）

## ○改革項目3-2 徹底した歳出の削減と歳入の確保

### 既存事業の見直し

#### <取り組み内容>

- ・事業の見直し方針を作成し、定期的な事業の棚卸しを行います。また、市が行っている事業について、市民や企業などから市が行うよりも効率・効果的に実施できるアイデアを募集し、事業化を検討します。
- ・インセンティブ予算\*制度活用により、既存事業見直しの動機付けを図ります。

指標	現状値	目標値
① 既存事業費の縮減額	① -	① 12.1 億円/年
② インセンティブ予算申請件数	② 22 件/年 (2010 年度)	② 30 件/年

#### \*インセンティブ予算

事業を行う際の創意工夫による経費節減や財源確保の取り組みを評価し、その取り組みを実施した部にインセンティブ額として、別枠予算配分する仕組み。

## ○改革項目3-3 市有財産の戦略的活用

### 公共施設跡地の効果的な活用

#### <取り組み内容>

- ・本庁舎移転関連跡地については、新庁舎移転後、活用方針にもとづき、速やかに整備などを行い、資産の有効活用を図ります。
- ・学校跡地は、都市計画変更を行い、活用方針にもとづき、速やかに整備などを行い、資産の有効活用を図ります。

指標	現状値	目標値
公共施設跡地の活用箇所	0 / 8箇所	8 / 8箇所

### スポーツ広場・学校開放事業の再編成

#### <取り組み内容>

- ・スポーツ広場や学校の体育館・校庭など開放に供している施設について、抽選による使用と、使用料の有料化を行います。
- ・「地域スポーツクラブ」の設立・普及を図り、地域スポーツクラブに優先利用枠などのインセンティブを与えます。

指標	現状値	目標値
① 有料化や再編成したスポーツ広場の数	① -	① 全施設 (30 箇所)
② 有料化や再編成した学校開放事業施設の数	② -	② 全施設 (53 校)

# 町田市新5ヵ年計画（2012年度～2016年度）

## 財政見通し

「財政見通し」は、将来にわたり財政の健全性を確保するために、今後5年間の歳入・歳出（一般財源）の見込みと財政指標の見通しを示しています。

### ◆ 財政見通し

(単位：百万円)

	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	5ヵ年合計
<b>歳入（一般財源）</b>	86,589	83,691	83,819	83,897	83,866	421,862
市税	66,529	66,616	66,732	66,869	67,011	333,757
譲与税・交付金等	8,086	8,115	8,127	8,141	8,155	40,624
基金繰入金	4,930	3,000	3,000	3,000	3,000	16,930
その他	7,044	5,960	5,960	5,887	5,700	30,551
<b>歳出（一般財源）</b>	86,589	85,317	85,433	86,052	85,828	429,219
義務的経費	35,915	36,696	36,286	36,648	36,074	181,619
人件費	19,099	19,555	18,873	19,034	18,043	94,604
うち退職手当 (定年退職者分)	1,533	2,280	1,877	2,240	1,332	9,262
扶助費	10,420	10,586	10,645	10,685	10,703	53,039
公債費	6,396	6,555	6,768	6,929	7,328	33,976
その他の経費	50,674	48,621	49,147	49,404	49,754	247,600
繰出金等	15,460	16,421	16,947	17,404	17,754	83,986
事業費	35,214	32,200	32,200	32,000	32,000	163,614
経常事業費	23,614	23,400	23,400	23,400	23,400	117,214
政策的事業費	11,600	8,800	8,800	8,600	8,600	46,400
歳入－歳出 (=▲収支不足額)	0	▲ 1,626	▲ 1,614	▲ 2,155	▲ 1,962	▲ 7,357

### ◆ 2013～2016年度(平成25～28年度)の収支不足額への対応

(単位：百万円)

繰出金等の削減(下水道事業会計・病院事業会計)	1,230
経常事業費の縮減	4,847
市税徴収率向上による増収	1,280
対応額 合計	7,357

- ① **繰出金等の削減**(下水道事業会計・病院事業会計)  
経営基盤の強化及び経営改善の推進により、一般会計からの繰出金等を削減します。
- ② **経常事業費の縮減**  
既存事業の徹底した見直しにより、経費の削減を図ります。
- ③ **市税徴収率向上による増収**  
現年度課税分で滞納期間の長期化を防ぐことに重点をおき、徴収率の向上を図ります。

### ◆ 財政指標見通し

	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)
経常収支比率(%)	84.1	87.6	86.4	87.2	85.6
公債費比率(%)	4.3	4.6	5.0	5.2	5.8
実質公債費比率(%)	△ 0.4	0.9	1.8	2.1	2.5
財政調整基金 年度末残高(億円)	70	70	70	70	70

# 町田市新5ヵ年計画 主な取り組み

2011年12月発行

---

発行者	町田市 〒194-8520 東京都町田市中町 1-20-23 042-722-3111
編集	政策経営部企画政策課（重点事業プラン） 政策経営部経営改革室（行政経営改革プラン） 財務部財政課（財政見通し）
印刷	株式会社 芳文社
刊行物番号	11-58

---

この冊子は再生紙を使用しています。



市の木：けやき



市の花：サルビア



市の鳥：カワセミ



【市章】

(昭和33年10月1日制定)

マチダのマの字2つをもって田の字型に図案化して、市民の和合団結を表しています。中央の鳥型は平和と発展のしるしです。